

令和6年7月14日

<佐々木 朗>

JARL 渡島檜山支部結成 50 周年祝賀行事について

0 経過

JARL 渡島檜山支部では、10 周年ごとに記念式典、記念誌を発行してきた。私は 30 周年、40 周年と行事に携わり、40 周年記念時の記念誌の編集を担当した。昨年 2023 年がその年（JARL 北海道 8 支部体制と同じ）に当たり、当時の支部に何回か、計画の有無を打診したが、返事はなかった。50 周年の記念カレンダーは一部いただいた。
カレンダーは支部大会参加者以外もらっていないようだ。そうだとすると、支出額が大きい。配付先についてどうなっているのだろうか。

1 私としての構想

周年行事は、ものすごくエネルギーを使います。10 年に一度なので、毎年やるものと違って、時代も変わり、ノウハウもそのまま使えないことも多いです。

アマチュア無線界においても、10 年前のアクティビティーと今を考えると、「無理しなくていいんじゃない。」という声も聞こえるように思います。

私の中では、ずっと守ってきた渡島檜山支部の周年行事は、先輩への感謝の意もあり、一年遅れではありますが、ぜひ実施したいと考えております。

内容としては、この 10 年を振り返る記念誌作成と、祝賀会です。この祝賀会で、2034 年の支部結成 60 周年、2026 年の JARL 結成 100 周年の気運を盛り上げていきたいと考えます。

時期は、11 月前半あたり、函館市か、函館市近郊を考えております。

基本的には、OK。手伝いがいないと、業務があまりにも多いことになる。支部報を縮小して、こちらに各局短信を入れる。

祝賀会は、いくら高くても 5 K。できるだけ安価を目指す。

現在は、ホテルなどの確保が難しい状況もある。